

第113回例会「日野町まち歩き」(3/9)実施報告

今回は、蒲生氏郷公の生まれた日野城(中野城)、その後近江日野商人を生んだ邸跡や蒲生家の菩提寺の信楽院、800年以上の歴史ある春の例祭の馬見岡綿向神社をめぐる日野のまち歩きです。当日は、4名の地元観光協会のボランティアガイドによる名所・旧跡を行程に沿って詳しく丁寧な説明を聞きながら、皆と一緒に無事一日を楽しむことができました。ご参加の皆さまお疲れ様でした。
例会担当: 44期園芸 & 北近江文化

【行程(1例)】

3月9日(土)9:30 旧平和堂日野駐車場(全員集合)⇒近江日野商人館⇒信楽院⇒日野城跡(昼食)
⇒近江日野商人ふるさと館⇒馬見岡綿向神社⇒15:00 日野まちかど感応館(解散)

■参加者数: 104名 ■総歩行距離: 約7Km



まちあるき



近江日野商人館



日野商人館(1班)

まず近江日野商人館を見学し、江戸時代の雛人形や日野商人が北関東を中心に全国へ行商し、日野椀や薬を売り歩き、向こうで多くの商いをしていたことを知りました。当日は、沢山のひな人形が飾られた部屋で、琴が奏でられ優雅なひと時を楽しめました。2階には、行商品や道中具、家訓の他日本で現存する国産の最古級のワイン、二宮金次郎直筆の領収書、赤穂浪士討ち入りの第一報の手紙などが展示されていました。次に日野商人館から徒歩30分ほどの蒲生家の菩提寺「信楽院」に立ち寄り、本堂でお参りし、天井を眺めると水墨画で描かれた絵は雲龍との説明があり、寝転びながら見ると、力強い迫りに圧倒されました。その後、小雪を除けるためにお堂の軒下で昼食をとり、墓地に回り氏郷の遺髪塔等を見学しました。



信楽院(2班)



天井画「雲竜」信楽院



綿向神社のお札

信楽院より歩いてしばらくして氏郷公が茶の湯の水として使われた湧水の若草清水で透き通った水を見て10分ほどの日野(中野)城跡に立ち寄り、蒲生氏郷の産湯の池や400年前の城郭跡や仁王寺(にしおうじ)藩の陣屋跡を見学しました。



若草清水(湧水)



外堀跡



日野城跡(3班)

日野城跡から10分で近江日野ふるさと館(旧山中正吉邸)は、広大な庭に接客用に増築された数寄屋風書院造りの新座敷に洋間、土間には大釜付きの五口くど(かまど)、床の間と仏間が向かい合った部屋の長押し縁起が良いコウモリの金具が取り付けられる等、見どころ満載でした。

ふるさと館から歩くこと5分ほど先に、最後の見学先の馬見岡綿向神社は、境内に入って直ぐ大木にしめ縄が目に入り眺めてみると、しめ縄に吊るされているのは各月を表し、真ん中の2重の輪は太陽と月を表しているそうです。拝殿本殿を見学し、湖東地方最大と言われる日野祭りは、5月2日(宵祭)3日(本祭)に行われ、曳山16基、御輿三社が揃うこと等が説明されました。



近江日野商人ふるさと館(4班)



コウモリの金具



勸定縄(馬見岡綿向神社)

日野まち歩き・日野城タイムスケジュール										
	10時	11時	12時	13時	14時	15時	旧平和堂			
A班		40分	40分(昼食)	15分	20分	20分	20分	出発 10時30分 到着後 15時10分		
B班		20分	45分(昼食)	10分	10分	30分	20分	出発 10時20分 到着後 15時00分		
C班		20分	10分	20分	45分(昼食)	20分	30分	出発 10時30分 到着後 15時10分		
D班		20分	30分	50分(昼食)	20分	20分	20分	出発 10時30分 到着後 15時30分		
								大窪バス停 10時4分 バス下車 バス出発 15時37分		
								近江日野商人館 信楽院 日野城見学 綿向神社 日野ふるさと館 日野まちかど感応館(休憩)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加人数が110名程度予想されるため約30名近くの4班に分けてグループ毎に別行動する。 2. 近江日野商人館は20人しか入れないため前のグループが出てから入場する。(時間をずらす) 3. 信楽院は、11時30分まで法要が行われており立ち入り禁止のため、それ以降に入場する。 4. 雨天の為、昼食は建屋の軒先などを利用して取る。 5. バスの時間により最寄りの向町バス停、西宮バス停で乗ることも考える。 										
(A班・D班に電車・バス利用の人を振り分ける)										

今回は、日野ひなまつり紀行が開催中で、大勢のお客の訪れが予想される中、予想外に参加者が多いため、展示館への入場が重ならないよう、また昼食がうまく取れるよう、バスの乗車に間に合うよう、スケジュール調整が大変でした。また、当日は雨雪もあり大幅にスケジュールが狂ったり主催者泣かせの例会でしたが、皆さんに喜んで頂けたのが何よりの救いでした。日野の人々が日野商人の築いた文化財を大切に守り、後世に引き継ぐためにたゆまない努力をされていることがよく伝わってきたまち歩きでした。

(文責:彦根校44期園芸 辻隆、濱信行)